PALLISHREE

インド国バフダ入江湿地における強靭なコミュニティ構築のための気候変動適応に向けた住民参加型環境教育と生計改善の実践

ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発

イベントの延べ参加者	7,790人
植樹	50,000本
今年度計画の達成度	100%
目標達成度	100%

住民への意識啓発を目的とした環境ラリー

苦労した点と工夫した点

■苦労した点
対象エリアは二つの州にまたがり言葉も違う文化的障壁もあって、住民同士や住民と外部機関との意思疎通が難しい状況であった。

■工夫した点
湿地の賢明な利用を促進するために住民参加型の活動を多く取り入れるとともに、政府の支援も呼びかけ環境活動を活性化させた。

課　題
対象湿地でみられる乱獲や気候変動により生物多様性が衰退し、人々の生活が圧迫されている。住民の環境リスクへの理解は乏しく、地域社会の環境適応・回避能力は脆弱である。

目　標
バフダ入江湿地の自然環境を再生し、そこで生活する人々が、湿地を賢明に利用し、気候変動リスクに対する環境適応・回避能力を身につけ、コミュニティの強靭性を高める。

活動内容と成果
「強靭なコミュニティ構築のための学習センター」を拠点に以下の環境活動を実施
①マングローブ植林（2万本）と一般樹種の植林（3万本）
②清掃美化、環境測定・記録、絵画・作文コンテスト、環境イベント、ニュースレター発行等を通じた環境教育の推進
③ ワークショップや研修を通じた環境保全へのコミュニティ能力構築
④女性の自助グループを組織化し、環境に配慮した生計活動（衛生的な魚干物づくりとカニ養殖）による現金収入の獲得

環境配慮型生計支援（カニ養殖）

事業活動結果に関する村落住民との情報共有

全助成期間の活動を振り返って
マングローブ6万本・一般樹種６万本の植樹による湿地再生、カニ養殖や魚干物づくりを通じた環境配慮型生計支援、環境教育活動による住民の環境意識向上を達成した。本事業を通して、三つの参加学校が政府から表彰、住民の能力向上による出稼ぎ労働者の減少、女性の就労機会提供を通じたエンパワーメント、漁業者がプラスチック製から竹製の漁具に変更するなど責任ある漁業の実践など、多くの成果を得ることができた。

| 活動地域 | インド

502/2 Mallick Complex, P.O.-Khandagiri,
Bhubaneswar-751030, Dist-Khurda,
Odisha, India
http://www.pallishree.org/

今後の展望
バフダ入江湿地で依然として支援が行き届いていない村落があるため、本事業で得た経験を基にして事業対象エリアを拡大していきたい。また、事業終了後も住民らによって自立的に発展するための工夫として、環境教育とともに環境配慮型生計活動の支援を重点的に行うことによって、持続可能な自然資源管理（Fish Home づくり）の実践、そして気候変動に適応した強靭なコミュニティを構築できるよう貢献していきたい。